



蓮見代表が自らメンバーに指導し、OJTの機会を提供することも、週初に全社発信するメッセージをまとめた冊子「今日の一言集」を配布し、コンサルティングの要諦、マインドを伝えている

編成を再考。チームで「経営の承継」と自社株を含めた「財産の承継」にワンストップで対応する。また、時代の変化に応じてさらにコンサルティング力を向上すべく、長年培ってきたノウハウ、知見を集約した「ART（アート）システム」を開発。テクノロジーも積極的に取り入れ、課題解決に臨む。

「財産コンサルティングで重要なのは問題の顕在化です。問題が可視化できれば、解決の突破口も必然的に導き出すことができます。そこで生きるのが、会計事務所や税理士法人にはない、私たちならではの強みです。それは、アセットを動かして相続や事業承継の対策を考えられること。例えば、不動産の組み換えによって資金を調達したり、建物を建ててインカムを得たり、様々なアプローチがあります。

こうしたアセットを動かす施策には税務知識だけではなく不動産、実事業などの専門知識が求められます。プランニングから問題解決の実践、特例税制に応じたアドバイスなど、あらゆる局面で対応できるコンサルティングファームは、私たちしかいないと自负しています」

蓮見代表自身、監査法人入所後、証券会社への出向や会計事務所への転職を経て独立。税務・会計知識をベースに、顧客にとてはの喜びがあります」

クライアントの問題を解決した先にこそ、コンサルタントならではの喜びがあります」

潜在的な困り事を見いだし、積極的に解決していくてほしい。クリアントの問題を解決した先にこそ、コンサルタントならではの喜びがあります」

「財産に関するあらゆる悩みを解決する」をミッションに掲げ、高度なソリューションを提供する青山財産ネットワークス。創立以来、個人資産家と企業オーナーの支援に注力してきたが、時代の変化に伴ってクリエイ

トの悩み、ニーズは多様化する一方だ。同社代表の蓮見正純氏は、財産承継・事業承継が複雑化する背景を語る。

「少子高齢化が進んで経済が長期低迷していることもあり、リタイヤ後の生活資金、相続税の納税資金の確保に関心が集まっています。また、後継者不足や事業承継の困難による廃業の増加など、事業承継を巡る問題も増えました。M&Aによって事業を承継したオーナーの財産運用・管理に関する相談も目立っています。財産も事業も、これまで以上にきめ細やかな支援が求められます。このような状況だからこそ、当社ならではのコンサルティングが強みを發揮できると考えています」

2つの税理士法人や財産の承継・運用・管理のコンサルティング会社を抱える青山財産ネットワークスグループには、公認会計士・税理士・宅地建物取引士など国家資格を有する専門家が150名以上。多様化する二子に専門家集団として対応する。個人資産家・企業オーナーに向けたコンサルティングを別部署で提供していたが、近年、



クライアントへの貢献と併せ、「ともに働くメンバーの物心両面の幸せ」を目指すことが経営目的。「お客さまに幸せを提供する以上、メンバー自身が幸せでなければ」と語る蓮見氏。「財・体・心」を強固にバックアップするトップの眼差しを受け、メンバーは笑顔で業務に臨む

個人資産家と企業オーナーの“財産”と“未来”を守る。会計プロフェッショナルが成長・挑戦できる環境は万全

株式会社青山財産ネットワークス



取材・文/佐々木正孝
撮影/内海明啓

や税務申告に特性を發揮する資見氏は、会計系スペシャリストとして幅広なサービスを提供していくたい——新たな仲間の参画を待つ蓮見氏は、会計系スペシャリストに大きな期待を寄せている。

「公認会計士、税理士は、監査

代表取締役社長
公認会計士
蓮見正純(はすみ・まさづみ)／
1980年、慶應義塾大学商学部卒業。83年、青山監査法人に入所。監査・株式公開、事業承継対策などを從事する。その間、野村證券へ出向。91年、山田&パートナーズ入所。96年、プロジェクトを設立、代表取締役に就任。2008年、プロジェクトホールディングスと船井財産コンサルタントを経営統合し、代表取締役社長に就任。12年、青山財産ネットワークスに商号変更。

AZ Aoyama Zaisan Networks

株式会社青山財産ネットワークス

所在地/東京都港区赤坂8-4-14 青山タワーB1

TEL/03-6439-5800

<https://www.azn.co.jp/>

個人資産家と企業オーナーに向けて財産承継と事業承継、財産運用・管理の総合財産コンサルティングサービスを提供する。1991年の創立から税理士法人などをグループに持ち、ネットワークを拡大してきた。財産コンサル分野では数少ない上場企業。



格ですが、財産コンサルティングの領域にも活躍のフィールドが広がっています。例えば、企業の事業継続性を見極め、事業評価をするなかではBS、PL、CFを読み解くことが必須です。クリエイントの相談を聴取し、問題解決に向けたプランニングにも税務会計知識は不可欠です。M&Aのストラクチャーを組む際に有利になります。コ

ンサルティング業務は問題解決の連続です。学ぶべきことは増えるでしょうが、税務・会計の資格を取つてよかったです、と思つてもらえる業務が待っています。会計人の可能性が膨らむ環境であります。トップが強いリーダーシップで先導するだけではなく、組織として総合力を高めていくプロセスに入っています。Aーが台頭する世の中でも、財産・事業承継にまつわる悩み事が尽きることはありません。財産を巡る課題は複雑化する一方で、私たちが目指すのは企業価値の向上、個人財産の保全というシンプルなものです。「財産のことなら青山に相談しよう」と思われるコンサルティングファームを目指し、今後も挑戦を続けていきます」

「私たちがベンチャーチャー期を過ぎ、今はまさに成長の入り口に立っています。トップが強いリーダーシップで先導するだけではなく、組織として総合力を高めていくプロセスに入っています。Aーが台頭する世の中でも、財産・事業承継にまつわる悩み事が尽きることはありません。財産を巡る課題は複雑化する一方で、私たちが目指すのは企業価値の向上、個人財産の保全ということなら青山に相談しよう」と思われるコンサルティングファームを目指し、今後も挑戦を続けていきます」